

待機燃費低減システム搭載 油圧ショベル

REGZAM[®] シリーズ

登録

（株）加藤製作所（取締役社長 加藤公康）では、待機燃費低減システム搭載油圧ショベル「REGZAM シリーズ」を国土交通省新技術情報提供システム NETIS に登録致しました。本技術では、待機時状態をコントローラで把握し、独自の油圧システムにより、従来よりも大きな圧力を流量制御部に導入することにより、より小流量にポンプを制御、エンジン負荷を低減し、燃料消費量を低減出来ます。

◆待機時燃費低減システムに期待される効果

従来、待機時はメインポンプからコントロールバルブの最下流に流れる油量が増えることによって発生する圧力をポンプの流量制御部に導入し、吐出量を制御していましたが、様々な設計条件にて発生圧力は制限されるため、比較的大きなエンジン馬力を消費していました。待機燃費低減システムでは、メインポンプからの油量によってポンプ流量を制御するシステムから待機時に別系統の油圧にてポンプ流量を低減する油圧システムに変えたことにより、待機時のエンジン負荷が低減され、燃料消費が減少するため、省資源・省エネルギーおよび経済性の向上が期待できます。

◆切り替えが速い

エンジンをストップさせないので、レバー操作だけで待機状態からすぐに作業を再開できます。

◆待機時にエンジンの負荷を軽減

待機時、操作レバーを中立にすると、独自の回路で油圧ポンプ流量を低減するので、エンジン負荷が減少し、燃費を低減できます。

※また、オートスローモードを併用するとアクセル全開作業から自動的にエンジンが低回転になるため、より燃費を低減できます。

◆待機時の燃費と CO₂排出量が低減

待機時の燃費
CO₂排出量 約 45%低減

※上記数値は、HD820V エンジン回転ローアイドルでの値です。

NETIS 登録情報

NETIS 登録番号…………… KT-130022-A

技術名称…………… 待機燃費低減システム搭載油圧ショベル「REGZAM シリーズ」

NETIS とは

民間企業により開発された新技術を公共工事において積極的に活用していくために、国土交通省が、新技術に関わる情報の共有及び提供を目的として整備した、新技術情報システム(New Technology Information System : NETIS)のことで、インターネットで一般に公開され、有効な新技術の情報を誰でも容易に入手することが可能となっています。

今後ますます活用が見込まれるシステム、NETIS について、詳しくは国土交通省 NETIS ウェブサイト (<http://www.netis.mlit.go.jp>)をご覧ください。

NETIS 登録技術活用のメリット

国土交通省直轄の公共工事で、NETIS に登録された新技術の活用を提案すると、施工者に加点対象となるメリットがあります。

◆総合評価落札方式での加点

総合評価落札方式で『待機燃費低減システム搭載油圧ショベル REGZAM シリーズ』の活用を提案した場合、加点の対象になります。

(注：加点の方法は提案を行った地方整備局等によって異なります。)

◆工事成績評価における加点

公共工事において、施工時に『待機燃費低減システム搭載油圧ショベル REGZAM シリーズ』の活用を提案すれば工事成績評価で加点対象になります。また、次回以降の入札において、落札が有利となる評価につながります。

待機燃費低減システム搭載 油圧ショベル **REGZAM**® シリーズラインナップ



ホームページアドレス… <http://www.kato-works.co.jp>

製品の仕様や詳しいお問合せにつきましては最寄りの弊社支店・営業所までご用命ください。

写真データのご用命は営業本部営業企画室（担当 相山）までお願いいたします。

メールアドレス t-sugiyama@kato-works.co.jp

電話番号 03-3458-1113

※ REGZAM は榊加藤製作所の登録商標です。